

除雪稼働補償料前払いの検討は

町長 我が町に合う方法を選択していく



録画を配信

克雪対策

補償料前払いの検討

問 今年は大雪となったが、ここ数年は少雪。除雪体制維持のため、除雪稼働補償料を前払いできる制度を検討できないか。

町長 今は気象変動が激しく雪が降る年もある。我が町に合う方法を選択していく必要があると認識しているが、事業者から理解を得た上で契約を結ばせていただいている。

オペレーターの確保

問 人材確保のため、冬期間のマルチワークの一つの仕事にならないか。

企画政策課長 組合員になっていただき、要望があれば派遣は可能。本人と業者の意向を調整し、計画的な活用を図ることが大切。

雪はき・雪下ろし支援

問 支援できる業者等が少ない。ボランティアも含め、業者の確保をどうしていくのか。

町長 業者にお願いするしかないが、若い人が少ない。広域的な見地から応援をいただく

時期に来ていると思っている。



融雪設備支援

問 軒先融雪やロードヒーティング等で雪下ろし等軽減できないか。町にも支援事業があるが増額できないか。

町長 電気代や物価が高騰しており、そういう状況下ではない。地域の課題を捉え、どうすれば安心した生活が続けられるかを念頭に置き、対応させていただく。

住まい対策

子育て支援・若者定住促進住宅整備

問 新たな整備の現在の進捗状況はどうか。

建設課長 神明アパート北側の用地取得がようやくできた。

住宅手当等支援

問 支援住宅等の整備にはもう少し時間がかかる。その間、移住してきた子育て世代への住宅手当的な支援も必要ではないか。

企画政策課長 したらたか若者移住支援金や移住支援交付金制度があり、家賃や引っ越し費用に利用いただいている。

問 地域おこし協力隊の退任後やマルチワーカーへの住宅支援など、町に留まっていたための継続した支援も必要ではないか。

町長 補助金等の交付

競争になっては、まちづくりの視点が違ってくると思う。できる範囲でお互いに頑張るしかない。公平平等を念頭に置き、慎重に対応していきたい。

町内企業への支援

問 社員に住宅手当を支給している町内の企業に、何らかの支援ができないか。

町長 労働力が不足している時代であり、各企業で住まいの準備は努力されているが、町が何かを支援する状況には至っていない。必要性が高まり、環境が整えばやっていく必要があるだろうと思う。

私もひとこと

5年先10年先を見据えて取り組んでほしい。
(40代男性)